

第7章 悪臭

(1) 悪臭調査

悪臭の発生する恐れのある事業場について、特定悪臭物質の機器分析及び官能試験法による測定を行っている。平成18年度には、有機化学工業製品製造業2社及び印刷業の3ヶ所の調査を実施している。

測定結果については、個別に工場を訪問しデータを伝え、今後の臭気改善策について聞き取りを実施している。

表 7-1-1 悪臭発生源調査結果

(単位:ppm)

特定悪臭物質	有機化学工業製品製造業	有機化学工業製品製造業	印刷業	基準値
測定日	H19.3.12	H19.3.15	H19.3.15	-
酢酸エチル	0.1 未満	0.1 未満	0.4	3
スチレン	0.05 未満	-	-	0.4
キシレン	0.1 未満	0.1 未満	0.1	1
トルエン	-	0.1 未満	0.4	10

表 7-1-2 官能試験による悪臭発生源調査結果

	有機化学工業製品製造業	有機化学工業製品製造業	印刷業
臭気指数	17	10 未満	17

◇ 悪臭防止法に基づく地域指定等

① 規制地域の範囲

地域の区分	規制地域
A 区域	北茨城市全域とする。

※プロピオンアルデヒド等10物質は、平成6年4月1日から施行。(平成6年3月10日告示)

臭気指数の規制については、当市では導入していない。しかし、一部事業場で、公害防止協定において数値規制を行っている。(規制例：敷地境界において臭気指数14未満)

② 規制基準

規制基準 物質名	1号規制 (敷地境界)	2号規制 (排出口)	3号規制 (排水)	備考
アンモニア	1 ppm	注1	—	し尿のようなにおい
メチルメルカプタン	0.002 ppm	—	注2	腐った玉ねぎのようなにおい
硫化水素	0.02 ppm	注1	注2	腐った卵のようなにおい
硫化メチル	0.01 ppm	—	注2	腐ったキャベツのようなにおい
二酸化メチル	0.009 ppm	—	注2	腐ったキャベツのようなにおい
トリメチルアミン	0.005 ppm	注1	—	腐った魚のようなにおい
アセトアルデヒド	0.05 ppm	—	—	刺激的な青ぐさいにおい
プロピオンアルデヒド	0.05 ppm	注1	—	刺激的な酸っぱい焦げたにおい
ノルマルブチルアルデヒド	0.009 ppm	注1	—	刺激的な酸っぱい焦げたにおい
イソブチルアルデヒド	0.02 ppm	注1	—	刺激的な酸っぱい焦げたにおい
ノルマルバレールアルデヒド	0.009 ppm	注1	—	むせるような甘酸っぱい焦げたにおい
イソバレールアルデヒド	0.003 ppm	注1	—	むせるような甘酸っぱい焦げたにおい
イソブタノール	0.9 ppm	注1	—	刺激的な発酵したにおい
酢酸エチル	3 ppm	注1	—	刺激的なシンナーのようなにおい
メチルイソブチルケトン	1 ppm	注1	—	刺激的なシンナーのようなにおい
トルエン	10 ppm	注1	—	ガソリンのようなにおい
スチレン	0.4 ppm	—	—	都市ガスのようなにおい
キシレン	1 ppm	注1	—	ガソリンのようなにおい
プロピオン酸	0.03 ppm	—	—	刺激的な酸っぱいにおい
ノルマル酪酸	0.001 ppm	—	—	汗くさいにおい
ノルマル吉草酸	0.0009 ppm	—	—	むれた靴下のようなにおい
イソ吉草酸	0.001 ppm	—	—	むれた靴下のようなにおい

注1) 2号規制は、敷地外の最大着地濃度地域が、1号規制基準値と等しくなるよう気体排出口における特定悪臭物質の流量の許容限度を定める。

注2) 3号規制は、排水から拡散し、大気中で拡散した特定悪臭物質の濃度が、当該地域に係る事業場敷地境界における規制基準値と等しくなるよう、排水の特定悪臭物質の濃度の許容限度を定める。

第8章 地盤沈下

茨城県生活環境の保全等に関する条例では、地下水のくみ上げによる地盤沈下の防止を目的として、吐出口の断面積が19 cm²以上の揚水機を特定施設として届出をさせている。

当市においては、平成7年度以降届出はない。